

令和3年度 協励会入門セミナーレポート

開催日 2022年(令和4年)1月9日(日)

開催方法 Zoomでのオンライン開催(配信元:東京・協励会館)

●選定品の育成講座

「若甦群」

増加育成委員長 佐藤 雅之

「レバコール群」

増加育成委員 山本 総一郎

「皮膚病・スキンケア」

増加育成委員 田中 大嗣

「痛み」

増加育成委員 坂本 知史

2022年(令和4年)1月9日(日)、令和3年度協励会入門セミナーがZoomで開催され、74名の皆さんにご参加いただきました。本来であれば9日(日)、10日(月・祝)は新入会員セミナーの予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で見合わせることになりました。2020年(令和2年)度と今期2021年(令和3年)9月の新入会員セミナーも開催できず、改めて新型コロナウイルスの影響が長引いていることを感じます。

ただこのような状況が長く続くことで、新入会員の先生方の協励会や選定品について学ぶ機会が減ることは避けなければなりません。そこでZoomを用いて協励会入門

セミナーが開催されることになりました。

セミナーは、まず広本篤委員の先導による協励十訓の唱和から始まりました。小田美良会長からの挨拶では、「本来であれば新入会員セミナーとして顔を合わせての研修を行いたいところですが、安全第一。協励会からクラスターを出さないと決めてここまできています。協励会は研修団体であり研修により目指すのは、『協励の心』です。『自己完成』『自己研鑽』、そして得た知識を『与える精神』をもってグループ会で発揮し、『報恩感謝の心』をもって薬局経営をしていく必要があります」とお話しいただきました。

続く中田雅之日邦薬品工業(株)代表取締役社長の挨拶は、「選定品は無名商品であるがゆえにお客さまに販売するためには協励会の先生の力が必要です。また先生方の売り方によって効き目が上がる商品です。そのためには研修が大切です」とお話しいただきました。

次に増加育成委員による選定品の育成講座です。「若甦群」に

ついては佐藤雅之委員長が担当されました。まず自律神経について、「自分ではコントロールできない臓器などの働きをオートパイロットで調整する神経です」とお客さまにも分かりやすい言葉を教えていただきました。また、交感神経と副交感神経を車のアクセルとブレーキに例えながら若甦群の使い分けについて実例を絡めながらお話しいただきました。店頭で活用しやすい実践的な内容でした。

「レバコール群」は山本総一郎委員が担当され、レバコールが数あるアミノ酸製剤のなかで唯一無二であることをお話しいただきました。良質糖質や良質脂質などの言葉はないけれど良質タンパク質という言葉があるのは、タンパク質は構成するアミノ酸の種類や配合比によって良質かどうかが決まり、レバコールのパンリバーエキスは20種類のアミノ酸がバランス良く含まれているので良質タンパク質であると説明いただきました。また、過去に国立病院で実施されたパンリバーのエビデンスに基づく実験話で、肝疾患者さんのさまざまなQOLを下げるよう



小田美良会長



中田雅之日邦薬品工業(株)代表取締役社長



笹谷則之副会長



辻伸常任理事



西澤哲増加育成委員



広本篤増加育成委員



佐藤雅之増加育成委員長



山本総一郎増加育成委員



田中大嗣増加育成委員



坂本知史増加育成委員

ことも教えていただきました。この方法は他の商品でも応用可能だと思います。

その後、混合協励会が行われました。対面ではないため皆で議論を交わすことはできませんでしたが、順番に話しながら混協を行いました。初顔合わせながらも自己紹介が終わるころには楽しく話ができるのが混協の醍醐味だと感じました。いつか対面でお会いするのが楽しみです。

混協の後の決意発表は、これから取り組んでいくこと、改めて取り組みたいことを具体的な数値目標を立てて決意発表していただきました。

最後に、辻伸常任理事に総括、笹谷則之副会長に閉会のご挨拶をいただき、広本委員による先導で協励五省を唱和して終了しました。

セミナー名に「入門」と入っていますが、私にとっても新たな発見や刺激が得られた有意義なセミナーでした。今後また開催されるときは、皆さんからの感想や要望を確認しながら開催できればと考えています。(レポーター 増加育成委員 西澤哲)

な症状に対して著効を示したことを紹介していただきました。資料が古いため店頭では使えないとのことでしたが、私も見たことがない資料でとても興味深かったです。

「皮膚病・スキンケア」は田中大嗣委員が担当されました。まず、皮膚病などの相談のときに必ず患部を見せていただくことの重要性を説明いただき、水虫などの好発部位を知ることで疾患の見極めがしやすくなることを、写真のスライドを表示しながら説明いただきました。また、手鏡を用いた塗り薬の塗り方で患部の周りから中心に向かって塗り広げる方法を教えていただきました。お客さまにも分かりやすく店頭ですぐに活用できるテクニックだと思いました。スキンケアに関しては、ACLアクルエッセンスやACLアクルミュールセラムシリーズ、アイブ

リーナだけでなく潤貴の紹介もしていただき、外側からと内側からのケアを教えていただきました。

「痛み」は坂本知史委員が担当され、「痛みの要因三角形」(筋肉の疲労・血行不良・軟骨のすり減り)を用いた痛みの原因の見極め方と商品の選び方を説明いただきました。また、店頭での接客テクニックとして白紙ハガキに痛みの三角形について書き込みながらお客さまの現状を説明し、もう一枚のハガキに必要な成分を書く実践的な方法も教えていただきました。オキソピタンDXカプセルのサンプリング方法としては、店頭でまず2カプセルを出すときに横に並んで2カプセルを出すのではなく、縦に2カプセル出してシートをちぎられないようにすると、心理的に帰宅後飲んでいただきやすい渡し方になる